

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」寝屋川校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		～	2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数)	34
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		～	2025年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 12日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	すべての児童にたいしてほとんどの職員が支援を行うことができ、状況に応じて行動することができている。	支援内容を普段から話し合い、それぞれの児童への取り組みや進捗を共有している。	支援計画の更新や、保護者からの相談があった際などで都度ミーティングを行い、情報の共有を行っていく。
2	個別での支援で保護者や児童に寄り添った取り組みができおり、信頼に繋がっている。	振り返りの時間を大切にし、普段のご家庭での様子や学校での様子などもヒアリングし、繋がりのある支援を行っている。	保護者にはこちらから積極的にアプローチし、相談しやすい関係性を築いていく。
3	幅の広い支援プログラムを提供することができている。	それぞれの児童に対して複数の職員でアプローチを考え、多角的に取り組むことを意識している。	支援内容を充実させるために支援のツールや特性理解の研修に参加する機会を設け、質や内容の向上を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアレントトレーニングや保護者同士の関わりを持つ機会の提供。	管理者変更に伴い、段取りや保護者との関係性構築が間に合っていないかった。	定期的に保護者会などを実施し、繋がり強い関係性を構築していく。
2	安全管理に関しての取り組みの周知。	避難訓練や安全点検などの実施状況を上手く見える化ができていなかった。	SNSやHPのブログなどを上手く活用し、事業所の活動を周知していく。
3	地域資源の活用。	地域資源に対しての理解が乏しく、上手く活用ができていない。	市役所や相談支援事業所、他事業所などと積極的に連絡を取り合い、地域資源についての情報を得ていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」寝屋川校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 46

回収数 34

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	7	0	2	待機所が混雑しすぎているときがあります。その場合振り返りを受ける方は教室で受けたらいいのと思います。（お子さんの状態にもよりますが）密集させると危ないしいいことありません。	お子さんの入れ替わりの時に混雑してしまう時があり、ご迷惑をおかけしています。職員で話し合い解決したいと思います。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	6	1	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	4	0	6		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	29	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	2	0	2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	2	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	29	0	0	0	子どもの様子とモニタリング等で、保護者のニーズを聞き取った内容で対応してくれます。	ありとうございます。今後もできる限りニーズの把握、利用者様の成長に尽力していきたいと思います。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26	1	0	2	一度利用できなかったことがあったので。	今後、適切な支援を受けられるよう保護者様と相談しながら進めてまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	26	1	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2	0	1	活動内容をその時々の子どもの好きなものを取り入れて考えてくれているなど感じます。	子どもさんが今後も前向きに取り組めるよう工夫をしていきたいと思っています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	6	11	8	利用しはじめたところなのでまだわからない。機会があれば情報頂きたいです。	現在、児童館、地域のこどもと活動はできていないが、連携を図り保護者様にもお伝えして行きます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	29	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	29	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	5	5	11	利用しはじめたところなのでまだわからない。機会があれば情報頂きたいです。	ペアレントトレーニングなど家族支援についてのチラシ、保護者会などで周知して行きたいと思っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	27	1	0	1	活動終了後に共有の時間を取ってくださいます。	お子様がどの様に過ごしたか話すことで成長を指導員と共有していけたらと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	5	2	1	・子どもの不安などを共有してアドバイスしてくれます。助言の内容をより具体的に頂けると助かるなど感じることがあります。 ・自分が行けてないので。	・具体的にお話していけるよう職員で要望を共有し具体的に話ができるよう努力致します。 ・都合により来られない保護者様にも支援計画作成の際などお電話でお話する機会を設けます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	2	0	1	どこよりもピカイチの共感具合です。	ありがとうございます。今後もお子さまの共有は続けて参りたいと思います。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	10	15		保護者様同士の交流会をなかなか開催できていなかったのも、ママカフェ等を今後は企画していきたいと考えています。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	4	0	6	自分と先生の会うタイミングが無いことが多いので。	長らくお会いすることがない保護者様にはこちらからお電話でご相談やアドバイスをさせて頂きたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	28	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	3	6	教室に入らないと掲示板が見れない。SNSやアプリで日々の支援内容がわかれば。	Instagramなどでイベントでの様子は配信している。来所が難しいので、日々の支援内容をノート等に記載し、意見交換をしたいと考えています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	26	0	1	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	2	1	6		当事業所では年に法定回数、研修を行い、緊急時の備えています。また研修時の措置についてはファイルにまとめ待合スペースの棚に立てています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	3	0	13		定期的に避難訓練など非常事態発生の際に備えています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	3	0	4		安全計画を策定し、職員で共通しています。また保護者様にも閲覧できるようファイル作成、待合スペースの棚に立てています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2	0	7		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	29	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	29	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	1	0	0	人の入れ替わりが多かったので今後に期待しています。	今後、情報共有や待遇も含めて継続してお子さまを支援できる会社を目指して行きます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」寝屋川校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーティションを活用しエリアを分けている。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		基本 1 対 1 で対応できるようにしている。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		エレベーターあり。室内は段差のない作りになっている。 段差やドアの重さは心配になるときがある。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		支援の空き時間に掃除を行っている。 職員 1 人ひとりの気づきでもっとよい空間にできると思う。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンできるよう配慮している。 状況によっては個別の場所を取ることが難しいこともあるが事前に準備しておけば場所を作ることができる。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		職員全体で共有するようにしている。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○							
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを開催している。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○							
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修に定期的に参加している。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		利用者様 1 人 1 人に合わせてプログラムを立て保護者様と共有している。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		年 2 回のペース面談を行い、計画に反映するようにしている。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		利用者様の状況に合わせて職員間で検討を行っている。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画を元に支援プログラムを組み立て支援している。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○							
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○							
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○							

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		利用者様がスモールステップで様々なことに 取り組めるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		月に1回程度、集団イベントを開催しニーズ に応じられるようにしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	○		個別療育+担当制のため職員間の連携が難し いことがある。→後日共有するなどの工夫を している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		全てではないが気になったところなど子どもの様子を話 し合う機会を作っている。 共通の支援担当のお子さんに関しては行われている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につ なげているか。	○		連携が難しいことがある。→後日共有するな どの工夫をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回以上のペースで面談、計画の 見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み 合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定 をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者様が思いや気持ち、意見等を表現しや すい環境を作っている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教 育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻 の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適 切に行っているか。		○	事業所が送迎を行っていないので、学校との 情報共有は現在行っていない。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等 へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している か。		○	今後必要に応じて連携を取っていきたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスー パーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	今後必要に応じて連携を取っていきたい。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する 機会があるか。		○	今後必要に応じて連携を取っていきたい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	今後機会があれば参加したい。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課 題について共通理解を持っているか。	○		毎支援時にフィードバックの時間を設けてい るため情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラ ム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会 や情報提供等を行っているか。		○	現在は開催できていないため企画、開催を目 指していきたい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っ ているか。	○		契約時や契約更新時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思 の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや 家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用者様、保護者様の要望を聞き取りサービ スを提供できるよう努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、 保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		保護者同士で交流したり意見交換したりできる機会をニーズに合わせて設けていきたい。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		掲示物やInstagram等で情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚的な手がかりなど使うなど1人ひとりに合わせて対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民の方に向けた取り組みはできていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		職員間では開催してきたが、保護者様への周知や訓練の実施はできていない。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		職員間で定期的に災害時の対応について確認し訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物の提供はほとんどないが、する際は確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		全体に周知し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		定期的に研修があり適切な対応について再確認している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		契約時に説明し、了承を得ている。	